



## 次世代ネットワーク特集に寄せて

経営執行役常務  
システムプロダクトビジネスグループ  
副グループ長（ネットワーク担当）

近 岡 輝 美

1876年のアレクサンダー・グラハム・ベルによる電話通信発明から130年，1895年のグリエルモ・マルコーニによる無線電信発明から110年が経過した現在，ネットワークは人々の生活に深く浸透し，社会活動に欠かせない存在となりました。

富士通は1935年に通信機製造から創業し，以来，世界最先端技術を駆使したネットワーク製品を世界の先進通信事業者や企業ユーザに提供してまいりました。

近年，ネットワークは技術の進展とライフスタイルの変化とともに，その果たす役割と性格を大きく変えつつあります。とくにこの10年程度を振り返りますと，1990年代半ばのインターネットの商用化を契機として，ネットワーク上での企業活動や消費活動が大きな広がりを見せ，ADSLやFTTHに代表されるブロードバンド化の進展や携帯電話の普及はこの動きに拍車をかけてきました。今日では日本は世界有数のブロードバンド大国となっていますが，これを支えてきたe-Japan，u-Japan政策は，インフラの整備，新たな利活用の創出，さらには本格的なユビキタス社会の実現に向けた，世界的にも象徴的な包括的取組みとなっています。また，世界の主要な通信事業者は，IP技術による電話網の再構築，固定通信と移動体通信の連携，通信と放送の融合などをキーワードにネットワークの更なる高度化に取り組んでいます。

このように，ネットワークが社会インフラとしての重要性を増すにつれ，継続的に拡大するブロードバンド需要への対応，品質の確保，災害やサイバー攻撃への耐力など，その堅ろう性を高めていくことが重要な課題となっています。さらに，新たな融合サービスの実現，ユーザの居場所や利用状況に応じたサービスなど，提供や利用のしやすさを継続的に向上させ，ネットワーク自身が先進的な利活用の創出を支えるインフラに進化することが求められています。

本特集では，このような新たなチャレンジに対応した次世代ネットワークへの富士通の取組みと同時に，通信事業者のインフラとサービスを支えるプロダクトやテレコムソリューション，企業におけるセキュリティの高いネットワークの実現や利活用の高度化を支えるプロダクトやサービスを紹介いたします。

富士通は，創業以来掲げてきた「夢をかたちに」，「信頼と創造」や，現場を起点とした新たな利活用の創出「フィールドイノベーション」を，改めて次世代ネットワークを支える原点ととらえ，お客様のビジネスや社会活動に役立つプロダクト，サービスの提供を通して，豊かなネットワーク社会の構築に貢献し続けてまいります。